

## 港湾施設の開放に関する検討

番号	施設名	種類	構造形式	全体延長 (m)	所有者 (管理者)	安全性に関する主な判断要素など					安全対策 タイプ分類	港湾管理者の考 え方の区分	総合評価	備考			
						水面からの高さ5m以下		釣り台幅2m以上 +通路幅2m以上	前面水域の港湾利用	外海波浪の影響					足場の状況		
1	南港北防波堤	防波堤	直立ケーソン	350	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.4	・防波堤ノリ場天端高さ D.L.+3.5	・防波堤ノリ場天端幅6.6m	・内港側は南港水路	×	・外海に面しており、波浪の影響は大きい	・内港側はノリ場	C2	防波堤B	×	・南港水路に近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある ・南港野鳥園に近接しているため、鳥に被害が生じるおそれがある
2	南港南防波堤	防波堤	直立ケーソン	1,250	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.4	・防波堤ノリ場天端高さ D.L.+3.5	・防波堤ノリ場天端幅6.6m	・内港側は南港水路	×	・外海に面しており、波浪の影響は大きい	・内港側はノリ場	C2	防波堤B	×	・南港水路に近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある
3	南港沖防波堤	防波堤	直立ケーソン	150	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.0	・防波堤ノリ場天端高さ D.L.+3.1	・防波堤ノリ場天端幅7.0m				・内港側はノリ場 ・満潮時は浸水	C2	防波堤C		・ノリ場が低く、満潮時は浸水する可能性がある
4	大和川南防波堤	防波堤	直立ケーソン+ 穴あきスリット	1,450	大阪市 (大阪市・海務担当)	×	5.6	・防波堤天端高さ D.L.+5.7	・防波堤天端幅8.5m(スリットケーソン天端は穴あき)		×	・外海に面しており、波浪の影響は大きい	・スリットケーソン天端は穴あき	B1	防波堤A	×	・陸地と接していない防波堤であり、海象等急変時の安全確保が難しい ・防波堤の天端が穴あきであるため、安全対策に莫大な経費がかかり、現実的でない
5	常吉防波堤	防波堤	セルラーブロック スリットケーソン 鋼管杭	653	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.9 4.1 2.9	・セルラー部消波ブロック天端高さD.L.+2.9 ・スリット部天端高さ D.L.+4.2 ・鋼管部天端高さ D.L.+3.0	・セルラー部天端幅4.4m ・スリット部天端幅5.5~7.5m ・鋼管部天端幅1.3m	・内港側はヨットハーバー ・外港側は水路及びセイリングゾーン	×	・外海に面しており、波浪の影響は大きい	・セルラー部に比較的大型の消波ブロック(転落の可能性あり)	A1	防波堤A 防波堤B	×	・陸地と接していない防波堤については、海象等急変時の安全確保が難しい ・ヨットハーバーに近接しており、釣りをを行うとヨットセイリングに支障が生じるおそれがある
6	北港南防波堤	防波堤	直立ケーソン	50	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.7	・防波堤ノリ場天端高さ D.L.+3.8	・防波堤ノリ場天端幅5.0m	・前面は航路・泊地に近接している	×	・外海に面しており、波浪の影響は大きい	・内港側はノリ場	C2	防波堤B	×	・航路・泊地に近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある
7	北海岸通船だまり波除堤	波除堤	直立ケーソン	221	大阪市1 (大阪市・海務担当)		3.9	・波除堤ノリ場天端高さ D.L.+4.0	・波除堤ノリ場天端幅4.1m	・内港側は船だまり			・天端には疑岩の構造物あり	C1	波除堤A	×	・陸地と接していない波除堤であり、海象等急変時の安全確保が難しい ・船だまりと近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある
8	南海岸通船だまり波除堤	波除堤	直立ケーソン	279	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.9	・波除堤ノリ場天端高さ D.L.+4.0	・波除堤ノリ場天端幅3.1m	・内港側は船だまり			・内港側はノリ場	C1	波除堤A	×	・陸地と接していない波除堤であり、海象等急変時の安全確保が難しい ・船だまりに近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある
9	鶴浜通船だまり波除堤	波除堤	直立ケーソン	455	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.7	・波除堤天端高さ D.L.+3.8	・波除堤天端幅2.9m					A1	波除堤A	×	・陸地と接していない波除堤であり、海象等急変時の安全確保が難しい
10	木材整理場波除堤	波除堤	方塊、鋼管杭、 直立ケーソン	576	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.7 以下	・波除堤ノリ場天端高さ D.L.+3.8以下	・波除堤ノリ場天端幅2.7m以下	・内港側は木材整理場 ・外港側は泊地	×		・内港側はノリ場 ・足場は良いが、幅が狭い	C1	波除堤A 波除堤B	×	・陸地と接していない波除堤については、海象等急変時の安全確保が難しい ・内港側は木材整理場、外港側は泊地に近接しており、釣りをを行うと船舶の航行や貯木作業に支障が生じるおそれがある
11	南港内港船だまり波除堤	波除堤	鋼管杭	90	大阪市 (大阪市・海務担当)		3.4	・波除堤天端高さ D.L.+3.5	・波除堤天端幅3.0m	・内港側は船だまり				A1	波除堤C		・フェリー利用者等とのトラブル解決が必要である
12-	舞洲地区護岸の一部(表テトラ)	護岸	二重鋼矢板・セルラーブロック	903	大阪市 (大阪市・防災・管理担当)	×	5.9	・バラベット天端高さ D.L.+6.0	・バラベット天端幅1.0m		×	・外海に面しており、波浪の影響は大きい	・比較的大型の消波ブロック(転落の可能性あり)	-	護岸C	×	・テトラ型の消波護岸であるため、物理的に安全対策が難しく危険性が高い
12-	舞洲地区護岸の一部(北東護岸)	護岸	ケーソン式	1,289	大阪市 (大阪市・防災・管理担当)		3.4	・護岸天端高さ D.L.+3.5	・護岸敷幅5.5m	・前面は小型船舶の水路				C1	護岸B 護岸D		・背後地の一部が企業の敷地になっている
12-	舞洲地区護岸の一部(南護岸)	護岸	前方斜組組抗矢板	403	大阪市 (大阪市・防災・管理担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5	・護岸敷幅20.0m	・前面は北航路				C1	護岸D		
13	夢洲地区K護岸	護岸	直立ケーソン	696	大阪市 (大阪市・防災・管理担当)		4.8	・護岸天端高さ D.L.+4.9	・護岸敷幅8.0m	・前面は北航路				C1	護岸B	×	・今後、工事区域になる予定である
14	夢洲地区J護岸	護岸	直立ケーソン	390	大阪市 (大阪市・環境整備担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5	・護岸敷幅8.0m	・前面は航路・泊地に近接している	×			C1	護岸B	×	・背後地は工事区域である ・コンテナ埠頭の航路・泊地に近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある
15-	南港北地区護岸の一部(換気所)	護岸	ケーソン	104	大阪市 (大阪市・防災・管理担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5	・護岸敷幅10.0m	・前面は航路・泊地に近接している	×			C1	護岸B	×	・国際フェリー埠頭の航路・泊地に近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある ・背後地がトンネル換気所の敷地となっている
15-	南港北地区護岸の一部(夢咲トンネル)	護岸	ケーソン	410	大阪市 (大阪市・防災・管理担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5	・護岸敷幅4.0m	・前面は主航路に近接している	×		・工事区域のため足場があまりよくない	C1	護岸B	×	・主航路に近接しており、釣りをを行うと船舶の航行に支障が生じるおそれがある ・背後地が工事区域である
16	南港北護岸	護岸	ケーソン	599	大阪市 (大阪市・防災・管理担当)		4.0	・護岸天端高さ D.L.+4.1	・護岸敷幅4.7m					C1	護岸D		・緑地と一体になっているため、エリアを分ける必要がある

港湾施設の開放に関する検討

番号	施設名	種類	構造形式	全体延長(m)	所有者(管理者)	安全性に関する主な判断要素など					安全対策タイプ分類	港湾管理者の考え方の区分	総合評価	備考							
						水面からの高さ5m以下		釣り台幅2m以上+通路幅2m以上	前面水域の港湾利用	外海波浪の影響					足場の状況						
17	南港北ふ頭西護岸(野鳥園)	護岸	ケーソン・石積・セルラーブロック	756	大阪市(大阪市・防災・管理担当)	×	5.6	・バラベット天端高さ D.L.+5.7	×	・バラベット天端幅 1.0m	×	×	×	×	・外海に面しており、波浪の影響は大きい	×	・比較的大型の消波ブロック(転落の可能性あり)	-	護岸B	×	・背後地が南港野鳥園になっているため、鳥に被害が生じることがある ・テトラ型の消波護岸であるため、物理的に安全対策が難しく危険性が高い
18	南港西護岸	護岸	ケーソン	461	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		3.9	・護岸天端高さ D.L.+4.0	×	・護岸敷幅2.0m								C2	護岸B	×	・護岸敷が狭い ・背後地が企業の敷地になっている
19	南港中1丁目護岸	護岸	ケーソン	1,064	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		3.9	・護岸天端高さ D.L.+4.0	×	・護岸敷幅2.0m	×							C1	護岸A	×	・前面水際線を係留施設として利用している
20	南港南ふ頭北護岸	護岸	ケーソン・鋼矢板	831	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		3.9	・護岸天端高さ D.L.+4.0		・護岸敷幅5.0m								C2	護岸B	×	・前面水際線を一部係留施設として利用している ・背後地が企業の敷地になっている
21	南港南ふ頭東護岸	護岸	ケーソン	1,209	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		3.9	・護岸天端高さ D.L.+4.0		・護岸敷幅5.0m								C2	護岸A 護岸D		・前面水際線を一部係留施設として利用している
22	南港南ふ頭南護岸	護岸	ケーソン	890	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		4.9	・護岸天端高さ D.L.+5.0		・護岸敷幅5.0m								C1	護岸A 護岸D		・前面水際線を一部係留施設として利用している
23	南港南ふ頭西護岸の一部(関西電力)	護岸	ケーソン	313	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5		・護岸敷幅8.0m								C1	護岸B	×	・外海の波の影響が大きい ・背後地が企業の敷地になっている
24	南港東護岸	護岸	ケーソン	1,348	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		4.1	・護岸天端高さ D.L.+4.2	×	・護岸敷幅2.5m	×							C1	護岸B	×	・前面水域が木材整理場及び貯木場になっている ・背後地が駐車場や荷捌き場として利用されている
25	南港南護岸	護岸	セルラーブロック	2,269	大阪市(大阪市・防災・管理担当)	×	5.4	・バラベット天端高さ D.L.+5.5	×	・バラベット天端幅 0.4m								-	護岸C	×	・セルラーブロック型の消波護岸であるため、物理的に安全対策が難しく危険性が高い
26	平林護岸	護岸	傾斜	209	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		4.4	・バラベット天端高さ D.L.+4.5	×	・バラベット天端幅 0.5m	×							C1	護岸B	×	・前面水域が木材整理場になっている
27	鶴浜地区北側護岸	護岸	ケーソン	409	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5		・護岸敷幅7.5m								C1	護岸B	×	・背後地が工事区域である
28	鶴浜地区南側護岸	護岸	ケーソン	409	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5		・護岸敷幅7.5m								C1	護岸B	×	・背後地が工事区域及び港湾局基地の敷地になっている
29	鶴浜地区西側護岸	護岸	直立・ケーソン	151	大阪市(大阪市・防災・管理担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5		・護岸敷幅8.0m								C1	護岸B	×	・背後地が工事区域である
30	夢洲地区F廃棄物埋立護岸	廃棄物埋立護岸	直立ケーソン	1,763	大阪市(大阪市・環境整備担当)		4.4	・護岸天端高さ D.L.+4.5		・護岸敷幅8.0m								C1	廃棄物埋立護岸B	×	・背後地が工事区域である
31	夢洲地区G廃棄物埋立護岸	廃棄物埋立護岸	穴あきスリットケーソン	2,198	大阪市(大阪市・環境整備担当)	×	5.6	・護岸天端高さ D.L.+5.7	×	・護岸幅4.7m(天端は穴あき)								E1	廃棄物埋立護岸C	×	・護岸の天端が穴あきであるため、安全対策に莫大な経費がかかり、現実的でない
32	夢洲地区H廃棄物埋立護岸	廃棄物埋立護岸	穴あきスリットケーソン	1,203	大阪市(大阪市・環境整備担当)	×	5.6	・護岸天端高さ D.L.+5.7	×	・護岸幅4.7m(天端は穴あき)								E1	廃棄物埋立護岸C	×	・護岸の天端が穴あきであるため、安全対策に莫大な経費がかかり、現実的でない
33	新島地区北廃棄物埋立護岸	廃棄物埋立護岸	緩傾斜	1,372	大阪市(大阪市・環境整備担当)		3.9	・消波ブロック天端高さ D.L.+4.0 ・勾配 1:2.5		・護岸ノリ場天端幅 10.0m								F2	廃棄物埋立護岸D	×	・陸地と接していない廃棄物埋立護岸であり、海象等急変時の安全確保が難しい ・テトラ型ではなく比較的平坦な消波ブロックであるため、危険度は低い
34	新島地区東廃棄物埋立護岸	廃棄物埋立護岸	鋼製セル	725	大阪市(大阪市・環境整備担当)		4.9	・セル天端高さ D.L.+5.0		・護岸敷幅18.5m	×							D1	廃棄物埋立護岸C	×	・陸地と接していない廃棄物埋立護岸であり、海象等急変時の安全確保が難しい ・工事途中の区域である ・不陸が多いため、物理的に安全対策が難しい
35	新島地区南廃棄物埋立護岸	廃棄物埋立護岸	スリットケーソン	1,689	大阪市(大阪市・環境整備担当)	×	5.9	・ケーソン天端高さ D.L.+6.0		・護岸ノリ場天端幅 5.7m								D1	廃棄物埋立護岸A 廃棄物埋立護岸D	×	・陸地と接していない廃棄物埋立護岸であり、海象等急変時の安全確保が難しい ・前面水際線の一部(約600m)は係留施設となっている
36	新島地区西廃棄物埋立護岸	廃棄物埋立護岸	緩傾斜	656	大阪市(大阪市・環境整備担当)	×	6.9	・消波ブロック天端高さ D.L.+7.0 ・勾配 1:4/3( 1.3)	×	・バラベット天端幅 1.0m								-	廃棄物埋立護岸C	×	・陸地と接していない廃棄物埋立護岸であり、海象等急変時の安全確保が難しい ・テトラ型の消波護岸であるため、物理的に安全対策が難しく危険性が高い